

筋萎縮性側索硬化症の発症・進行・予後に関する因子の探索 JaCALS (Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis research)研究に参加いただいた方へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	JaCALS および J-MICC 研究における既存試料を用いた筋萎縮性側索硬化症のゲノムワイド関連解析
研究機関名	愛知医科大学
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	医学部長 笠井 謙次
研究責任者	担当科：神経内科 特命学長 祖父江 元
研究の対象となる方	愛知医科大学病院において、2021 年 3 月以降、筋萎縮性側索硬化症の発症・進行・予後に関する因子の探索 JaCALS (Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis research)に参加いただいた ALS 患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の発症、進行、予後に関連する遺伝子、遺伝子多型を探索同定して、ALS の病態解明、治療開発に資する解析を行います。そのために J-MICC Study における既存の網羅的遺伝子多型（SNP アレイ）データを正常対照データとして利活用します。 〔利用方法〕 JaCALS は ALS の発症、進行、予後に影響を及ぼす遺伝的な因子を明らかにすることを目的の一つとしています。ALS の発症等に関わる遺伝子は、ALS の病態を明らかにし、治療開発を進める重要な手がかりになります。その探索のために、JaCALS で蓄積された ALS 患者さん最大 2000 例の遺伝子検体を用いて、網羅的遺伝子多型データが蓄積されています。この情報を健常人多数例の網羅的遺伝子多型データ（正常対照データ）と比較解析することにより、ALS に関連する遺伝子多型を探索同定することができます。解析例数が多いほど、この解析の精度を上げることができます。そのため、より多数の正常対照データを解析に用いる必要があります。J-MICC study（日本多施設共同コホート研究）と共同研究を行い、J-MICC study で蓄積された最大 15000 例の健常人ゲノム情報を解析のための健常対照群の一部として利用します。 研究計画についての問い合わせは下記「問い合わせ先」に御連絡ください。

	〔外部への試料・情報の提供〕 なし 〔外部への提供開始日〕 なし
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：JaCALS に登録された臨床情報、ゲノム情報
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	研究代表者 愛知医科大学 特命学長 祖父江 元 愛知医科大学を研究代表機関とする多機関共同研究。 共同研究機関名・研究責任者名は多数のため、後方に別途記載。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030 年 3 月 31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、希望を表明いただいた時点で、既に解析結果が発表されていたり、提供者に結び付けることのできない形で符号化された後であったりする場合、情報の利用や提供を中止することはできません。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学 ALS 治療研究開発部門内 JaCALS 事務局 担当者：医学部内科学講座（神経内科）教授 熱田直樹 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22824） E-mail: JaCALS@aichi-med-u.ac.jp
共同研究機関名・研究責任者名	<JaCALS 共同研究機関> 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学・教授・勝野雅央 自治医科大学内科学講座神経内科学部門/附属病院リハビリテーションセンター・教授・森田光哉 東北大学大学院医学系研究科・教授・青木正志 新潟大学脳研究所脳神経内科・准教授・石原智彦 東京都立神経病院脳神経内科・部長・木田耕太 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター脳神経内科・医師・高嶋浩嗣 国立病院機構東名古屋病院・院長・饗場郁子 東京科学大学病院脳神経病態学分野・教授・三澤園子 東京大学医学部附属病院脳神経内科・助教・成瀬紘也 国立病院機構相模原病院・統括診療部/脳神経内科医師・臨床研究センター/神経難病研究室長・長谷川一子 三重大学医学部附属病院脳神経内科・大学院担当助教・田村麻子 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野・教授・和泉唯信 国立病院機構鈴鹿病院脳神経内科・院長・久留聡

	医療法人社団西日本平郁会神経内科クリニック・医師・藤田拓司 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室・教授・矢部一郎 群馬大学医学部附属病院・大学院医学系研究科脳神経内科学教授・池田佳生 国立病院機構宮城病院・脳神経内科部長・松本有史 微風会ビハーラ花の里病院・副院長/脳神経内科部長・織田雅也 国立精神・神経医療研究センター・病院 脳神経内科診療部長／特命副院長・高橋祐二 岡山大学病院脳神経内科・助教・田所功 京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学・講師・能登祐一 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科・教授・波田野琢 京都大学医学部附属病院脳神経内科・助教・綾木孝 東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野・教授・狩野修 山梨大学医学部神経内科学講座・准教授・新藤和雅 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野・教授・花島律子 国立病院機構東京病院・神経内科医師・中村美恵 九州大学大学院医学研究院神経内科学分野・病院 ARO 次世代医療センター助教・小早川優子 千葉大学医学部附属病院脳神経内科・助教・澁谷和幹 東京医科大学病院脳神経内科・主任教授・赫寛雄 横浜市立大学附属病院脳神経内科/脳卒中科・准教授・土井宏 国立病院機構静岡医療センター脳神経内科・副院長・溝口功一 佐賀大学医学部附属病院内科学講座脳神経内科・教授・小池春樹 福島県立医科大学医学部脳神経内科学講座・教授・金井数明 国立病院機構医王病院脳神経内科・医師・駒井清暢 滋賀医科大学脳神経内科学講座・教授・漆谷真 福岡大学医学部・教授・馬場康彦 大阪大学医学部附属病院脳神経内科・助教・池中建介 産業医科大学神経内科学・教授・足立弘明 特定医療法人久会図南病院脳神経内科・部長・沖良祐 国際医療福祉大学熱海病院脳神経内科・教授・竹内英之 焼津市立総合病院脳神経内科・科長・鈴木洋司 東北大学東北メディカル・メガバンク機構・客員教授・峯岸直子 徳島大学研究支援産官学連携センター研究推進部門・特任教授・梶龍兒 理化学研究所生命医科学研究センター骨関節疾患研究チーム・チームリーダー・池川志郎 理化学研究所生命医科学研究センターゲノム解析応用研究チーム・チームリーダー・寺尾知可史 理化学研究所生命医科学研究センター基盤技術開発研究チーム・チームリーダー・桃沢幸秀 横浜市立大学医学部医学科遺伝学・教授・松本直通
--	--

	東京科学大学総合研究院難治疾患研究所ゲノム機能多様性分野・教授・高地雄太 京都大学 iPS 細胞研究所・教授・井上治久 九州大学生体防御医学研究所高深度オミクスサイエンスセンターバイオメディカル情報解析分野・教授・長崎正朗 東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻実社会情報健康医療学・准教授・中枳昌弘 東京大学大学院医学系研究科遺伝情報学・教授・岡田随象 東京科学大学総合研究院難治疾患研究所計算システム生物学分野・教授・島村徹平 富山大学和漢医薬学総合研究所未病分野・教授・小泉桂一 国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター・室長・飯田有俊 東海国立大学機構岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科創薬科学専攻・准教授・本田諒 九州大学生体防御医学研究所・教授・大川恭行 九州大学情報基盤研究開発センター・教授・美添一樹 国立国際医療研究センター疾患ゲノム研究部・室長・人見祐基 慶應義塾大学医学部生理学・教授・岡野栄之 <J-MICC 施設> 千葉県がんセンター研究所がん予防センター・室長・道端伸明 愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野・分野長・松尾恵太郎 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野・准教授・田村高志 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野・講師・永吉真子 京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学・教授・高嶋直敬 佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野・教授・原めぐみ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学予防医学分野・教授・郡山千早 静岡県立大学食品栄養科学部公衆衛生学研究室・教授・栗木清典 ただし、共同研究機関や責任者が追加される可能性があります。
--	--